

れっつ!!地デジ



テレビくんと地デジくんの岡山弁まじりの会話を通して、平成23年7月に本格実施の地上デジタル放送について、シリーズでお知らせしています。

① 便利な機能 その2

されるときがあるよな

テレビくん「あれは見たい番組が何時から始まるか分からんから困るんじや」

地デジくん「地デジになると、

今までの標準画像なら1つのチャンネルで、2つか3つの番組を同じ時間に放送することができるようじゃ。メインのチャンネルでは時間どおりに見たい番組が始まるから時間を気にせんてええ。サブではスポーツ中継を引き続き放送しとるか

らスポーツを見たい人も見れるんじや」

テレビくん「そりゃー助かるな」

テレビくん「アナログ放送なら、アンケートやクイズ番組で電話をかけて、1番が『はい』、2番が『いいえ』で答えるのがあるが、電話するのがたいぎよな」

地デジくん「でも、地デジになつたら双方向サービスいうて、地デジテレビに電話線かインターネットをつなげたら、リモコン一つでクイズ番組やアンケートに答えられるんじや」

テレビくん「へー、もうテレビは見ただけじゃーねーな」

地デジくん「それとスポーツ中継の放送時間延長で、後の見たい番組が遅れて放送

尋常性疣贅 (いぼ)

漆原 嘉奈子 医師 (吉備医師会から)

「いぼ」と呼ばれる疾患はたくさんありますが、手足によく見られる「いぼ」についてアドバイスをします。代表的なものに尋常性疣贅(いぼ)があります。これは、ヒト乳頭腫ウイルスが、皮膚や粘膜に感染して起こる良性ウイルス性疣贅です。

感染は軽微な傷から生じるため、外傷を受けやすい手足に多く、皮膚の表面に点状の血のかたまりのようなものができるとのが特徴です。「うおのめ」や「たこ」と勘違いして削ると、出血することがあります。また、いぼをつまむと大抵痛みがあり、この点も「うおのめ」や「たこ」との違いです。

抗ウイルス薬や有効なワクチンが無いので、治療は人間の免疫力と人工

的な方法により行います。

人工的な治療の第一の選択は液体窒素を用いる方法です。いぼの部分を凍結することを、10日から2週間ごとに繰り返し、かさぶたにして落とします。痛みは当日で治まる

ことがほとんどですが、大きさによっては2、3日続くこともあります。まれに水泡を形成することもありますし、免疫がつかなければ繰り返し発症することもあります。

このほか、外科的療法、漢方内服、最近ではビタミンDの外用などもあります。単独では効果が出にくく、併用することが多いです。治るまでに時間のかかる疾患なので、自分のライフスタイルに合わせて根気よく治療することが必要です。

健康アドバイス



教育知り隊

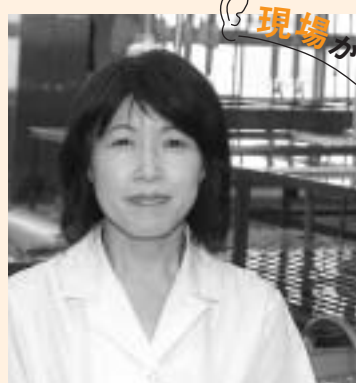
子どもたちが楽しみにしている学校給食。口に入るものを作るだけに、調理員は気を引き締めて調理しています。

今年4月、学校給食法の改正により、衛生管理がより厳しくなりました。給食調理場の調理員は、手の傷や体調を日々チェックし、月2回の検便を行っています。手や腕はもちろん、爪の間までブラシ

でいいいに洗ってから、調理を始めます。

学校給食の衛生管理

用しています。エプロンや靴は作業にに応じて下処理用・調理用・配食用と使い分けています。床を水で濡らすと汚染につながるため、床に水を落とさない工夫もしています。火の通り具合を確認する温度管理や調理の工夫で、「菌を殺す、つけない、増やさない」を合言葉に、食中毒発生防止に努めながらおいしい給食を作っています。



総社東学校給食共同調理場 調理員 能勢 祥子さん

調理場では、キャベツやハクサイなどの葉は一枚ずつ洗うといったように、食材をしっかりと洗うことを徹底し、衛生管理に細心の注意を払っています。また、洗い終わった食器を子どもたちに上手に使ってもらいたいと思っています。それがマナーの向上につながることを願っています。

【学校教育課】

子どもを不審者から守りましょう!



被害を未然に防ぐため

- ① 下校は、できる限り友達といっしょにしましょう。
② 夜間の外出は控え、やむを得ない場合は明るい道を通りましょう。
③ 不幸にも不審者に遭遇した場合は、すぐに警察に連絡しましょう。

今年、市内で子どもが被害者となる不審者出没の情報が数件寄せられています。例を挙げると、

◆女子高校生が夜間に帰宅中、自動車に乗った男が運転席の窓から手を伸ばして胸を触り、スカートをまくった。

◆小学生女児や女子高校生が下校中、突然現れた男性が下半身を露出した。

◆女子高校生が登校中、自動車に乗った男につきまとわれたうえに、デジタルカメラで写真を撮られた。

◆女子高校生が下校中、自

自動車に乗った男に約2kmにわたってつきまとわれた。といったものです。被害者のほとんどが女子児童(生徒)で、特に下校途中に狙われる傾向があります。

被害が発生している地域は市街地に限らず、郊外地域でも起きていますので、広い範囲にわたって注意が必要です。

子どもを不審者から守り、被害を未然に防ぐため、左のイラストの3点などを中心に、家庭でも子どもに話をしてください。

防犯のすすめ